

岐岐商 だより

No. 86

THE KEN-GI-SHO SENIOR-HIGH PRESS

○発行所 岐阜市則武新屋敷 岐阜県立岐阜商業高等学校PTA <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifu-chs/>



お子様のご卒業、心からお祝い申し上げます。子どもの成長を見守り続けてきた親にとって、卒業式は本人以上に感慨深いものがあります。小学校入学、家の玄関を出て、通学路を小さな足で歩む我が子に「大丈夫かな?」と、いつまでも後ろ姿を見続けたあの頃。中学生になり、身体の成長も著しい一方で、親の言葉を素直に聞けず反抗する姿に、時には怒りさえ覚えたあの頃。15歳の春、我が子の受検番号を見つけ、親子で抱き合った歓喜の合格発表。真新しい制服に身を包み、希望と不安を抱きながら校門を通ったあの日。いつしかあの頃の我が子が、こんなにも凛々しく成長し、本日、着慣れた制服を脱ぎ、高校3年間の学び舎を巣立っていきます。



奮闘と挑戦の日々

校長 村山 義広

今、まさに「高校卒業」という大きな節目を迎え、これまで我が子と共に過ごしてきた奮闘と挑戦の3年間。数々の想い出が蘇り、親子で胸を熱くされるとともに、時間の不可逆性を改めて認識されることでしょう。早朝に健康を気遣いながらお弁当を作り持たせるが、帰宅後に「お母さん…今日、箸が入っとらんかった～」と苦情を言われた時。帰宅後、疲れ果てて、こたつに入りそのまま寝息をたてる姿。「あなた…進路どうするの?」「わかっとるて～」と、親の心配もよそに…互いの主張が衝突してしまう瞬間。公式試合において、仲間と共に戦っている我が子を遠くから見守り、近くでは保護者全員で大きな声援を送り続ける中、試合終了のホイッスルが鳴り響き、優勝!感動のあまり思わず涙した瞬間。これらの「時々」は、常に親子の奮闘と挑戦の時間でした。そして、この親子の時間は、

小さな挑戦から大きな挑戦まで幅広く、特に、大きな挑戦をする時は、親子共ども強い気持ちと覚悟をもつことから始まり、一時的な苦しみを経て、爆発的な感動により完結。そして、我が子の新たな可能性を垣間見る瞬間だったと思います。

本日は、保護者の皆様にとっても、ある意味、卒業式であります。本日、手交した「卒業証書」は、お子様の3年間の努力の証明書でもあり、子どもから親への「感謝状」でもあります。これまでお子様の成長を支えてこられたご家族の深い愛情と絆に深甚の敬意を表すとともに、常に本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

結びに、中島みゆきさんは「時代」という曲の中で次のように歌っています。「そんな時代もあったねと、いつ

か話せる日が来るわ〜、あんな時代もあったねと、きっと笑って話せるわ〜」お子様が過ごした時代は、未曾有のコロナ禍で目標を見失いそうになり、誰にも何処にもぶつけることのできない感情だけが募る日々に、苦悩や悔しい想いを余儀なくされました。それでも様々なことに果敢に挑戦し、自分の将来の姿を見出そうと懸命に頑張る姿がありました。そして、彼ら彼女らが将来、自分の高校時代を振り返り、親子で語りあう時には、自分を常に支えてくれた親への深い感謝の気持ちを、恥ずかしがらずに素直に話してくれるとともに、「そんな時代もあったね〜」と、親子で奮闘と挑戦の日々を懐古する瞬間が到来することでしょう。

目次

奮闘と挑戦の日々(校長).....	1
「120年の伝統の継承を」(PTA副会長).....	2
令和6年度 PTA活動報告.....	2
PTAの広場(各学年会員).....	3
はばたきの羽音(卒業生各クラス代表).....	4
本年度の進路状況と親子のかかわり(進路指導部長).....	5

令和6年度各種検定合格者数.....	5
令和6年度「学校長賞」受賞者.....	6
令和6年度「PTA表彰」受賞者.....	6
～新たな100年へ～(硬式野球部監督).....	6
全国選抜大会出場決定部活動.....	6
編集後記(研修活動委員長).....	6

『120年の伝統の継承を』

PTA副会長 大野 安律



創立120周年の記念すべき卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、重ねてお祝い申し上げますとともに、PTA活動に多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。また、校長先生をはじめ諸先生方には、目まぐるしく変わる多感な子どもたちの成長を支えていただき、心よりお礼申し上げます。

岐阜県立岐阜商業高等学校は120年という長い歴史を通じて、多くの優れた人材を育成し、社会に貢献してきました。この伝統は、単なる過去の遺産ではなく、皆さんがこれから歩む道においても重要な指針となります。先人たちが築き上げた知識や経験、価値観は、皆さんの未来を支える大きな力となります。「伝統を受け継ぐ」ということは、過去の教訓を大切に、それを基に新しい未来を創造することを意味します。皆さんがここで学んだことは、社会に出る際の大きな財産となります。教育の中で培った知識やスキル、そして友情や絆は、これからの人生においても貴重な支えとなるでしょう。

また、未来を切り拓くためには「不撓不屈」の精神が鍵となります。人生にはさまざまな困難や試練が待ち受けていますが、それに対して決してあきらめず、挑戦し続ける姿勢が求められます。失敗や挫折は成長の一部で

あり、それらを乗り越えることで、より強い自分を築くことができるのです。皆さんが直面するであろう困難に対して、柔軟に対応し、前向きに取り組む姿勢を持っていただきたいと思います。さらに、社会に対する貢献も忘れてはなりません。皆さんが今後の人生でどのような道を選ぶにせよ、自らの持ち場で責任を果たし、周囲に対して積極的に関与することが重要です。社会の一員として、他者との協力や共感を大切にし、地域や社会に貢献する姿勢を持ち続けてください。皆さんが持つ知識やスキルは、社会をより良くするための大きな力となります。

最後に、創立120周年の記念すべき卒業生として、大きな期待が寄せられています。皆さんが持つ可能性は無限大です。自分自身の道を自信に満ち溢れて歩み、同時に社会に貢献する姿勢を忘れないでください。伝統を受け継ぎながら、未来を切り拓く力を信じて、さあ、新しい一歩を踏み出しましょう。この特別な日を迎え、皆さんの未来が希望に満ちたものでありますように。そして、伝統を受け継ぎながら、不撓不屈の精神で新たな一歩を踏み出してください。

令和6年度 PTA活動報告

①本部役員

- ・令和6年度PTA入会式(入学式)
4月9日(火)
- ・令和6年度PTA定期総会
5月1日(水)
- ・本部役員会、執行委員会
- ・HR委員会、常任委員会
5月24日(金)
- ・東海地区高等学校PTA連合会 三重大会
6月21日(金)
- ・岐阜県高等学校PTA連合会 岐阜地区連絡協議会
7月8日(月)
- ・全国高等学校PTA連合大会 茨城大会
8月22日(木)～23日(金)
- ・岐阜県高等学校PTA連合会 PTフォーラム大会
11月1日(金)
- ・各部活動における県・東海・全国大会応援
- ・PTA表彰
2月28日(金)
- ・卒業証書授与式
3月1日(土)

②生活指導委員会

- ・交通安全指導 学校周辺の交差点 8:00～
12月11日(水)
- ・交通安全教室
4月26日(金)
- ・いじめ防止講話
5月9日(木)

・防犯講話

- 7月17日(水)
- ・SOSの出し方講座
7月18日(木)

③進路指導委員会

- ・PTA大学見学会 参加人数 73名
6月13日(木)
愛知大学 名古屋キャンパス
愛知淑徳大学 長久手キャンパス

④特別活動等委員会

- ・PTAバザー
10月29日(火)
カレーライス・焼きそば・フランクフルト・唐揚げ
特別活動委員、有志、本部役員

⑤研修活動委員会

- ・「県岐商だより」No.84,85,86 発行

⑥支部委員会

- ・支部長合同会議
5月24日(金)・1月17日(金)
- ・支部総会及び地区別懇談会
7月1日(月)～7月16日(火)
- ・支部合同送別会(本校体育館で実施)
3月1日(土)

好きなことを軸に

1年生会員 太田 佳子

今年度の春、憧れの県岐商、念願の軟式野球部に入ることができました。これまでの息子の野球を振り返ると、小1の秋からスポ少に入りましたが、レギュラーの座は後から入ってきた友達、そして後輩が勝ち取っていくことができました。しかし監督には、ランナーコーチの大切さをしっかりと教えていただき、息子はチームの一員として誇りを持ってその役目を務めていました。中学校では、スポ少の友達が全員クラブチームに入る中、息子なりに考え、「新入部員がたった一人でも、僕は中学校の部活に入る」と言って入部しました。新入部員は二人だけでしたが、その友達とは大親友となり、その後、部員も増えて県大会にも出場できました。

そしてこの春、名門の県岐商に入り、練習についていけるだろうか心配していましたが、今までと変わらない様子で練習に励んでいます。一人っ子で「きょうだいがない」と言っていた息子は、野球のおかげで仲間と一緒に多くの時間を過ごすことができました。野球を通して多くの葛藤はあったと思いますが、一貫して「楽しく野球をやる」ことを大切にしてきました。「好きなこと」は宝だだと思います。それが軸にある限り、豊かな経験と、そしてかけがえのない仲間に出会えていきます。今度は「伝統校で野球をする」というプライドを持ち、大切な仲間と共に切磋琢磨しながら、新たな局面で力を発揮していくことを願います。

子どもの力は無限大！

2年生会員 高木 朱美

早いもので高校生活も2年が過ぎようとしています。「学校楽しい？」の問いに縦に首を振らない娘ですが、親の私から見れば十分過ぎるほどに充実した高校生活を送っているように感じます。入学前から部活は吹奏楽部！と決めていた娘。中学も吹部でしたが、コロナ禍真っ只中で制限が多い中での活動を強いられました。高校では思いっきり部活に励んでほしいと思っていましたが、県岐商吹部は予想をはるかに超えるものでした。吹奏楽コンクールや演奏会、野球応援や様々なイベントに参加するなど多忙な日々。今年度は、ぎふ総文や国民文化祭での演奏もあり、貴重な経験をさせていただきました。マーチングでは全国大会金賞を目指し、毎日寝不足になりながら練習に励んでいました。

● 普段は淡々と物事をこなし一切弱音を吐かない娘ですが、マーチング1年目の去年、部活終わりに大泣きしたことがありました。練習についていけない不安と上手くできない悔しさからでした。あれから1年が経ち、心も体も鍛えられた娘はとてども頼もしくなりました。同じく苦楽を共にしてきた他の子どもたちの成長にも目を見張るものがあります。日に日に上達していく子どもたちの演奏に毎回感動をもらい、また、その成長を見守ることができて私たち(親)は幸せ者だなと思っています。

● 12月に行われたマーチングバンド全国大会では見事2年連続の金賞を受賞することができました！日々熱心に指導して下さる顧問や講師の先生方、スタッフの皆様にご感謝申し上げますとともに今後も子ども達の活躍に期待し、応援していきたいと思っています。そして、笑顔で卒業式を迎える日まで、娘と共に青春を楽しみたいです。

応援するということ。

3年生会員 富成 智子

● 県岐商での3年間、色々な体験や経験をし、そこから多くのことを学び、娘は大きく成長したと思います。特に応援部での経験が大きく成長させたと感じています。

● 応援はスポーツでの勝ち負けを競うものとは違い、努力しても自分の結果として残るわけでもなく、応援した選手たちが必ず勝ってくれるわけでもありません。入部を決めた時は、結果の残らない部活でいいのかと思いました。応援して何が残るのだろうと。でも、勝つために、最後まで諦めずに戦う姿に勇気をもらったり、「応援してくれてありがとう」と温かい言葉をかけてもらったりする中で、感謝の気持ちや支え合う心、お互いを高め合える関係性など、勝負ではない精神的な面で学ぶことができたのではないかと思います。

● 応援部のメインの活動として、硬式野球部の夏の大会の応援があります。応援団長として臨んだ高校3年生の夏の大会。体温を超える気温が続く中での試合。暑い中、学ランを着て腕を振り、太鼓を叩き、声が枯れるまで仲間と共に最後まで全力で応援していました。試合後の選手や保護者の方からのたくさんの「応援ありがとう」の言葉。あの夏を忘れることはできません。

● 応援するということ。誰かがくじけそうになった時や、目標に向かって頑張っている人の背中を押すこと。そして応援することで共に目標に向かい頑張るといこと。それはこれから社会に出ても通用する『応援』の本質的なことであると思います。これから始まる大学生活でも社会に出ても、県岐商応援部としての経験や学びを生かし、次の目標に向かい精一杯頑張ってください。頑張る娘を応援します！

PTA
の
広場

は ば た き の 羽 音

Aエクラス

3年A組 田中 春菜

1年生のときにはマスクで隠れていた笑顔が2年生で見えるようになり、クラスの子と大きな声で笑い合える穏やかな日常が戻ってきた嬉しさは、今でも忘れられません。このクラスは須田先生を筆頭に明るく、全員で目標に取り組む温かいクラスです。優勝を目指して声を掛け合い取り組んだ球技大会、全員で盛り上がる事ができた文化祭、商品開発から販売まで自分たちで行い、販売に全力で挑んだ達人カップなど、どれも大切な思い出になりました。共に頑張り、最高の青春を送ることができたクラスのみならず、いつも支えてくださった須田先生には心から感謝をしています。3年間本当にありがとうございました。

ちょも、そつぎよおおお?!

3年B組 辻 奈々心

「よろしいか?」この言葉を何度聞いたことでしょうか。LOBOOKを一向に持ってこなくて、せっちゃんをたくさん困らせました。毎時間UNOをしたがる生徒もいました。なのに、テストの平均点や観ピジのクオリティーは何だかんだ高かったよね。そんな二面性を持つ私たちは最後の文化祭で、「アイドル学園」へと姿を変えました。とっても可愛いステージは、多くの人の記憶に残ったと信じています。他にも、クリスマスパーティーや餃子作り、ミニ運動会など、B組にしか作れない思い出を作り上げました。このクラスで、高校生活を心から楽しませてもらいました。3B“チーム友達”の絆は何にも負けません。みんな、せっちゃん、2年間ありがとう!

最高の思い出

3年C組 貞永 あくあ

C組のみんな!2年間ありがとうございました。初めて同じクラスになった時は、仲良くなれるかな、心配だな、と思っていたけれど、授業中にギャグで笑わせたり歌い出したりと、笑い溢れるクラスになりました。

C組を一言で表すと「個性の集まり」だと思います。一人一人の違う個性が集まったからこそ最後まで楽しく過ごすことができました。2年前に思い描いていた生活よりも遥かに楽しい高校生活になりました。3年間は長いようで短く、かけがえのないものです。この思い出を胸に新しい世界に羽ばたいていこう!

「C組最高!」

宝 物

3年D組 外山 乃彩

高校生活を振り返ると、数え切れない思い出が心に残っています。友達と過ごした日々、授業中の笑い声、球技大会や文化祭の熱気、そして、試験勉強の苦労も全てが私たちの成長の一部でした。さらに、進路を決める時期には、お互いの夢を尊重し、仲間の進路実現を心から応援しました。互いに面接練習をしたり、自分のことのように真剣に考えてアドバイスしたり、励まし合いながら過ごした時間はクラスメイトとの絆をより深めたように感じます。このクラスでの思い出はどれも大切な宝物です。これから新しい道に進む私たちですが、このクラスでの経験を胸に、新しい挑戦に向かって頑張っていきたいと思っています。

個性豊かなE組

3年E組 後藤 早矢香

1年生が始まって最初の1週間は緊張からお通夜のような雰囲気でした。しかし、3年間を通したかわりの中で、お互いの個性や性格を知り、徐々にみんな「素」が出てきたように思います。今ではあのころの面影がないほど騒々しく、元気なクラスになりました。

いつも多くが遅刻ギリギリに来る。授業中、いつも眠そうにしている人がいる。音楽の授業の合唱に気合が入っている人もいる。などなど個性豊かな人がたくさん集まっているE組です。思い返すと笑いの絶えなかった3年間でした。高校での3年間は長いようであっという間に過ぎていきました。進む道は様々ですが、それぞれの将来へ向かって頑張っていきたいと思います。3年間ありがとう。

3Fの戸締り

3年F組 川尻 創太

F組での高校3年間の日々はとても充実した日々でした。「勉強ができないなら部活を辞める」1年生の担任の先生に言われた言葉です。この言葉のおかげでF組のテストの点数は他のクラスよりも高く、成績優秀、部活動でも優秀な成績を残している人も多く、正に文武両道のクラスであると言えるでしょう。文化祭ではクラス全員が一丸となってステージ発表ができました。そのお陰で優秀賞も取ることができました。何事も全力で取り組むF組の姿勢が私はとても素晴らしいと思います。

嫌なこともあったけれど、振り返ると良い思い出ばかりです。改めて、3F最高!!大西先生、みんな、ありがとう!!

愛 組

3年I組 青村 若奈

I組といえば簿記。合格発表の日に渡された3級のテキストと電卓により入学前から始まった簿記の学習。みんな初めは取引の8要素も言えないレベルだったけれど、今では日商簿記1級の勉強をしていて、合格した仲間が何人もいます。また、簿記だけでなく英語やスポーツ、吹奏楽など様々な分野で活躍している仲間もいます。そんな仲間の存在があったから、辛いときも挫けずに前に進んでこられました。たくさんあった特編、仲が深まった校外研修や修学旅行、仲間の意外な一面が見られた球技大会、試行錯誤しながら協力して準備した文化祭、全部がかけがえのない思い出です。愛のあるクラスで笑顔溢れる3年間が送れました。ありがとう!

青い春

3年J組 垣津 吏統

J組はいつも賑やかで、常に笑顔が溢れているクラスで毎日学校に行くことがとても楽しみでした。バスの中で大熱唱し仲を深めた修学旅行、みんなで円陣を組んで団結した球技大会、全力で盛り上げステージグランプリを取った文化祭。J組で過ごした3年間は振り返ってみると、素敵な思い出が頭に浮かんできます。このクラスの仲間との何気ない日常がとても幸せなものだったと改めて感じました。これからは別々の道を進んでいけれど、岐商魂でお互い顔晴ろう!!最高の思い出、最高の青春をこのクラスの仲間と作ることができて嬉しかったです。本当にずっと笑えばなしで楽しくて幸せな高校生活でした。ありがとう!!

K's Kindred

3年K組 河瀬 由依

K組は何事にも熱心で、入学当初は周りの頑張りについていけない不安でした。しかし、必死に学んでいる仲間の姿や、勉強だけでなく部活動にも真剣に取り組む仲間の姿は、私のモチベーションの源になりました。私が勉強を頑張れたのはこのクラスの雰囲気のおかげです。高め合ってくれる仲間がいて、私自身の大きな成長にも繋がりました。また優しく個性豊かな面白い仲間ばかりで毎日が本当に楽しかったです。K組は私にとってとても居心地の良いクラスでした。そして3年間担任を受け持ってくださった大橋先生が支えてくれたおかげで、安心して高校生活を送ることができました。このクラスで高校3年間過ごすことができて良かったです。ありがとう!



本年度の進路状況と親子のかかわり

進路指導部長

本年度、卒業生351名のうち、進学者は288名(82.1%)、就職者は63名(17.9%)という進路状況となりました。

就職については、民間企業に56名、公務員7名が内定しました。企業の人手不足や進学率の高まりなどを背景に求人倍率が高い傾向が続き、高校生優位の「売り手市場」となっています。厚生労働省がまとめた公共職業安定所(ハローワーク)における全国の求人倍率は過去最高の3.7倍ですが、本校はそれをはるかに上回る37.6倍でした。高卒の初任給を見ても、大卒の初任給と同じ水準で、会社は学歴と関係なく能力や成果などに応じて、昇級できる評価制度を採用しています。

進学については、国公立大学20名、私立大学226名、私立短期大学3名、私立専門学校37名という状況となりました。文部科学省の学校基本調査によると、小・中学校の在学者数が過去最少となる一方で、高校卒業後の大学進学率は、61.1%と過去最高を記録しました。さらに過年度卒を含む高等教育機関への進学率は84.0%となり、今や進学するのが当たり前の時代となりました。しかし忘れてはならないのが、高校までとは比較にならないほどの大きなお金が必要となることです。そのため、多くの学生が奨

学金を頼りに進学しているのが実情です。また「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」のように、年内に進学先を決定する受験生が増えています。進学先のアドミッションポリシーと自身の人物像を照らし合わせ、1回の学力試験ではなく、取得した資格や部活動での経験、探究活動での学びを生かして進学先を決定しています。この決定がゴールではなく、その先のキャリア選択を見据え、充実した人生を送るにはどんな学びが必要かを常に問いながら、自立し自分らしい人生の在り方を追求してほしいと思います。

子どもが大きくなるにつれ、会話が減り、子どもとのかわり方が難しいと感じていませんか。子どもの心の中に親が占める割合が減っていくのは、子どもが正しく成長している証です。私の愛読書に「子育てハッピーアドバイス」明石大二(著)があります。同シリーズに心に留めておきたいフレーズをまとめた日めくりカレンダー(31日分)があり、何年もめくり続けています。「子どもが反抗するのは、ちゃんと育ててきた証拠で、喜ぶべきことです。」「子が宝なら、母親(父親)もまた宝。みんなで、この国の宝を、応援していきましょう。」「私のお気に入りのことばです。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

令和6年度 各種検定合格者数

(令和7年2月17日現在)

<p>・税理士試験</p> <p>簿記論 10名</p> <p>財務諸表論 7名</p> <hr/> <p>・経産省 データベーススペシャリスト</p> <p>1名</p> <p>応用情報処理技術者 4名</p> <p>基本情報処理技術者 13名</p> <p>ITパスポート 2名</p> <hr/> <p>・日商簿記</p> <p>1級 3名</p> <p>2級 63名</p> <p>3級 114名</p> <hr/> <p>・全経簿記</p> <p>上級 4名</p> <p>1級 1名</p> <p>工簿 2名</p>	<p>・全商簿記</p> <p>1級 212名</p> <p>会計 228名</p> <p>原価計算 249名</p> <hr/> <p>・全商財務諸表分析・財務会計・管理会計</p> <p>財務諸表分析 43名</p> <p>財務会計 27名</p> <p>管理会計 25名</p> <p>3科目合格 22名</p> <hr/> <p>・全商ビジネス文書</p> <p>1級 4名</p> <p>2級 13名</p> <hr/> <p>・全商ビジネス計算</p> <p>1級(そろばん) 4名</p> <p>1級(電卓) 291名</p> <hr/> <p>・全商情報処理</p> <p>プログラミング1級 47名</p> <p>ビジネス情報1級 91名</p> <p>2級 248名</p>	<p>・全商商業経済</p> <p>1級(2科目) 115名</p> <p>2級(1科目) 151名</p> <p>マーケティング 166名</p> <p>ビジネスマネジメント 22名</p> <p>商品と流通 105名</p> <hr/> <p>・実用英検</p> <p>準1級 1名</p> <p>2級 2名</p> <p>準2級 64名</p> <hr/> <p>・全商英語</p> <p>1級 42名</p> <p>2級 144名</p> <hr/> <p>・全商1級3種目以上合格</p> <p>7種目 5名</p> <p>6種目 3名</p> <p>5種目 30名</p> <p>4種目 42名</p> <p>3種目 54名</p> <hr/> <p>計 134名</p>
--	---	--

令和6年度「学校長賞」受賞者

3年C組 吉永 晴香 (水泳部) ・ 3年I組 堀江 尚憲 (簿記部)

令和6年度「PTA表彰」受賞者

運 動 系

	部 活 動 名	氏 名	年・組
1	硬 式 野 球	佐藤 吉星	3B
2	軟 式 野 球	多々納 颯太	3B
3	テ ニ ス 男 子	深尾 風月	3F
4	テ ニ ス 女 子	向山 莉央	3F
5	ソフトテニス男子	早見 和喜	3F
6	ソフトテニス女子	安藤 結子	3D
7	サ ッ カ ー	江島 遼人	3D
8	陸 上 競 技 男 子	大橋 一心	3A
9	陸 上 競 技 女 子	和多野 咲衣	3E
10	水 泳	北川 歩夢	3B
11	ハンドボール男子	井上 謙	3I
12	ハンドボール女子	永田 結愛	3C
13	バレーボール男子	松岡 琉星	3K
14	バレーボール女子	井上 陽南	3A
15	バスケットボール男子	武藤 大河	3D
16	バスケットボール女子	岩本 葉奈	3D
17	バドミントン男子	川尻 創太	3F
18	バドミントン女子	白川 純	3F
19	卓 球 男 子	渡辺 怜央	3D

	部 活 動 名	氏 名	年・組
20	卓 球 女 子	安田 明以	3A
21	柔 道 男 子	栗巢 野新	3K
22	柔 道 女 子	中山 裕那	3C
23	剣 道 男 子	辻川 晏都	3I
24	剣 道 女 子	田中 碧乃	3K
25	応 援	富成 梨花	3K
26	空 手	河野 天佑	3J

文 化 ・ 生 産 系

	部 活 動 名	氏 名	年・組
27	吹 奏 楽	玉田 湊人	3F
28	書 道	岡田 紗良	3B
29	茶 華 道	山田 明依	3K
30	放 送	安藤 もも	3C
31	珠 算	松野 亜紀	3K
32	速 記	辻 奈々心	3B
33	ワ ー プ ロ	水野 来春	3K
34	E D P	小枝 鉦太郎	3E
35	簿 記	青村 若奈	3I
36	L O B	安井 公望	3A

～新たな100年へ～

硬式野球部監督 藤井 潤作



17年前、当時33歳の私は約12年勤めた会社を退社し、教員を目指すため大学で教職課程を学び、その後県立岐阜商業で講師として2年間お世話になりました。何とか採用試験に合格し、38歳で初任校の土岐商業で5年、東濃実業で9年の勤務を経て再びこの学校へ戻ってまいりました。卒業生ではない私が再度お世話になることで非常にご縁を感じています。また硬式野球部創部100周年の節目の年に赴任しただけでなく、硬式野球部監督のバトンを鍛冶舎監督より引き継ぐことにもなりました。伝統校の監督に就任し、100年の歴史を重んじながらも、次の100年に向けての新たな一歩を踏み出すことに胸が高鳴ります。この100年という節目は先人たちの努力と情熱が積み重ねられた証であり、現在の私にとってはその歴史を尊重しつつ、未来へとつなげる責任を感じています。

過去の栄光や挑戦の跡を大切にしながら、必要な改革もあると思います。野球というスポーツは時代とともに進化し続け、技術や戦術も日々変化しています。また同時に時代の変化も感じずにはられません。その中で、伝統的な精神や理念を守りつつ、新しい時代に即した指導を行うことが求められます。選手たちには勝利をもちろん目指してもらいながらも、人間としての成長を促し、スポーツマンシップやチームワークの重要性を伝えたいと考えています。目標は全国制覇!そのために、単なる競技活動にとどまらず、日常生活や学校生活も含め生徒たちが学び、成長できる場として存在し続け、伝統校にふさわしい文武両道校を目指します。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校誌『岐商』第54号

ホームページから、是非ご覧ください。
QRコード、又は下記アドレスからアクセスいただけます。



◎<https://gishogifushogyo.wordpress.com>
◎パスワード:Gisho

*「岐商だより」は岐商ホームページでもご覧いただけます。

テニス部 男子団体・女子団体
第47回全国選抜高等学校テニス大会
(3月21日～25日 福岡県)

ソフトテニス部 女子団体
第50回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会
(3月28日～30日 和歌山県)

ハンドボール部 女子団体
第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会
(3月24日～29日 大分県)

全国選抜大会出場
決定部活動

バドミントン部 男子団体・女子団体
第53回全国高等学校選抜バドミントン大会
(3月23日～26日 石川県)

卓球部 女子個人
第52回全国高等学校選抜卓球大会
(3月20日～23日 岡山県)

空手道部 男子個人・女子個人
第44回全国高等学校空手道選抜大会
(3月24日～27日 和歌山県)

研修活動委員長

渡邊 梨奈

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございました。

在学中の努力や経験は、これからの人生の大きな財産となることでしよう。また、この

岐商で出会った仲間や先生方、支えてくれた家族との繋がりは、かけがえのないものです。共に学び、励

まし合った日々を大切にし、新しい道へと進んでください。出会いに感謝し、それを力に変えて未来へ羽ばたいていくことを願っています。

最後に、

「岐商だより」をご覧ください。

ありがとうございます。

発行にあたりご協力いただきました皆様、これまで支えてくださった全ての方々に、心より感謝しお礼申し上げます。

